

熊本市都市建設局交通政策総室長 古庄 修治氏：基調講演概要

「公共交通再生元年とバス路線網の再編」と題し、熊本県熊本市都市建設局交通政策総室長の古庄氏よりご講演いただきました。

- ・熊本市は市の東部にD I D地区が拡散してきているが、バス路線網は従来のものであり、バス利用者は減少しており、公的な補助金の額も増加している。
- ・市は政令市効果もあって、今は予測と異なって人口は増加しているが、今後は減少していくことが予想される。
- ・そこで、集約型都市構造を目指しつつ、移動権の理念の尊重を盛り込んだ公共交通基本条例を策定中。
- ・これに基づき、基幹公共交通軸を強化する。具体的には、鉄軌道のある軸は鉄軌道を中心にバスとの役割分担を明確にした上で連携させ、バスのみの軸は速達性・快適性を向上させるために接続バスを導入するなどの取組みを推進する。
- ・市内のバスについて、団子状態で走行するなど利用者の利便増進が必要であり、ラウンドダイヤの導入などバス路線網の再編に取り組む。
- ・さらに、交通不便地、交通空白地について、基幹公共交通軸に接続させる交通体系を構築する。
- ・市が調整役となり、事業者とともにワーキングを組織し検討しており、市民、事業者、行政の3者でWinWinの関係を目指す。しかしながら、バス会社間で基本的な考え方に差異があり、調整に苦労している。

以 上